

## 川和町駅周辺西地区・川向町南耕地地区の 市街化区域編入にあわせた土地区画整理事業 の都市計画が決定されました

市営地下鉄グリーンラインの川和町駅周辺及び横浜環状北線・北西線の港北インターチェンジ周辺では、まちづくりの検討を進めてきましたが、1月15日に開催された第147回横浜市都市計画審議会の議を経て、本日3月15日に川和町駅周辺西地区と川向町南耕地地区において、市街化区域編入にあわせた土地区画整理事業の都市計画が決定されました。

### 1 都市計画決定及び変更した主な項目

- (1) 区域区分の変更（市街化調整区域から市街化区域へ編入）
- (2) 土地区画整理事業の決定

※その他、区域区分の変更に伴い関連する都市計画（用途地域等）を変更しました。

### 2 都市計画決定した土地区画整理事業の内容

#### (1) 川和町駅周辺西地区

名称	川和町駅周辺西地区土地区画整理事業	
面積	約7.7ha	
公共施設の配置	道路	3・3・22号中山北山田線
		各街区の土地利用を考慮して、幅員6.0m～16.0mの区画道路を適宜配置する。
	公園は地区面積の3%以上かつ計画人口1人当たり3㎡以上を確保し、地区内に適切に配置する。	
下水道計画における排水処理の排除形式は分流とし、流末の公共下水幹線に接続する。なお流末において、調整池の整備を図る。		
宅地の整備	駅前拠点を形成するため、商業用地及び都市型住宅用地等を整備する。街区の規模は用途を勘案し、約2,000㎡～12,000㎡とする。	

#### (2) 川向町南耕地地区

名称	川向町南耕地地区土地区画整理事業	
面積	約20.5ha	
公共施設の配置	道路	1・4・8号高速横浜環状北西線※
		3・2・13号川向線※
	各街区の土地利用を考慮して、幅員4.5m～13.5mの区画街路を適宜配置する。	
公園は地区面積の3%以上かつ計画人口1人当たり3㎡以上を確保し、地区内に適切に配置する。		
下水道計画における排水処理の排除形式は合流式及び分流式とし、流末の公共下水道幹線に接続する。なお、区域内の雨水については、分流式で排水するものとし、流末において調整地の整備を図る。		
宅地の整備	街区は「物流・工業地区」、「沿道サービス地区」、「周辺環境調整地区」の土地利用を勘案し、適宜設計する。このため、街区の規模は用途を勘案し、約700㎡～40,600㎡とする。	

※横浜環状北西線事業による整備になります。

【裏面あり】

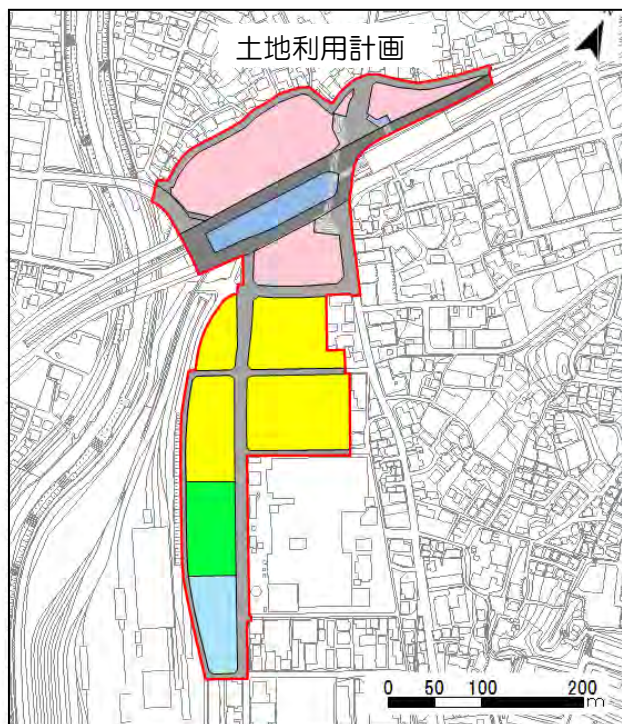
### 3 川和町駅周辺西地区について

#### (1) 現在までの経過

平成26年11月 川和町駅周辺B地区土地区画整理組合設立準備会発足  
 平成28年11月 都市計画手続開始（都市計画市素案説明会開催）

#### (2) 土地区画整理事業の概要

- ア 施行者：組合
- イ 公共施設：幹線街路  
区画道路  
公園  
調整池
- ウ 宅地の整備：約4万㎡
- エ 総事業費：約37億円



凡 例		
土地区画整理事業の施行区域		
公共用地	幹線街路	
	区画街路 (幅員 6.0m~16.0m)	
	公園	
	調整池	
宅地	商業地区	
	住宅地区	
	鉄道用地	

#### (3) 今後のスケジュール

平成 30 年 3 月 組合設立認可  
 平成 30 年度 造成工事着手（予定）  
 平成 32 年度 工事完了（予定）  
 平成 34 年度 組合解散（予定）

## 4 川向町南耕地地区について

### (1) 現在までの経過

- 平成26年6月 川向町南耕地地区土地区画整理組合設立準備会発足
- 平成28年11月 都市計画手続開始（都市計画市素案説明会開催）

### (2) 土地区画整理事業の概要

- ア 施行者：組合
- イ 公共施設：区画道路  
公園  
調整池
- ウ 宅地の整備：約12万㎡
- エ 総事業費：約50億円



凡 例			
土地区画整理事業の施行区域		幹線街路 (横浜環状北西線・川向線)	
宅地	物流・工業地区	公共用地	区画街路 (幅員=4.5m~13.5m)
	沿道サービス地区		公園
	周辺環境調整地区		調整池

### (3) 今後のスケジュール

- 平成30年3月 組合設立認可（予定）
- 平成30年度 造成工事着手（予定）
- 平成32年度 工事完了（予定）
- 平成34年度 組合解散（予定）

お問合せ先		
都市整備局市街地整備推進担当課長	天野 実	Tel 045-671-2668